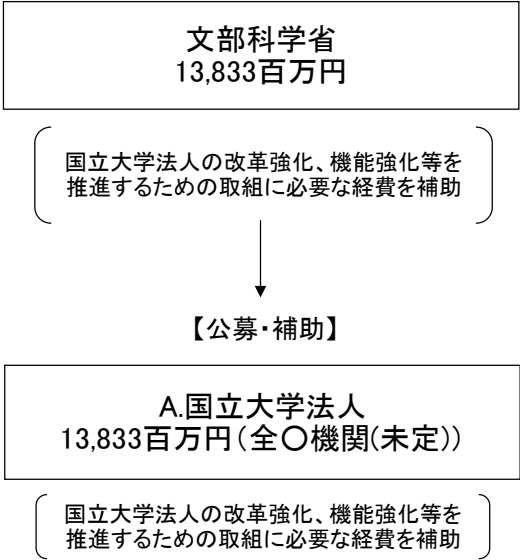


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国立大学改革の強化推進	担当部局	高等教育局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	国立大学法人支援課	国立大学法人支援課長 芦立 訓			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国立大学法人法(平成15年法律第112号)第35条において準用する独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条	関係する計画、 通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定) 新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定) 国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて(平成21年6月5日文部科学大臣通知) 第2期中期目標(平成22年3月29日文部科学大臣提示) 第2期中期計画(平成22年3月31日文部科学大臣認可)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	国立大学の改革強化、機能強化等を推進するための取組に必要な経費を補助することにより、我が国の高等教育、学術研究の水準の向上及び高度な人材育成に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国立大学における改革を推進するための学内システムを構築する取組で、当該中期目標・中期計画の変更を要するものであって、かつ他大学への波及効果も大きいと考えられる以下のような事業等を支援する。【補助率:定額補助】 ・一大学としての枠を超えた「大学群」の創出につながる等の連携協力を伴う取組 ・教育研究組織の大規模な再編成を伴う取組						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算				13,833	-
		補正予算				0	
		繰越し等				0	
		計				13,833	-
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	定性的指標: 国立大学が改革強化、推進する取組をこれまで にない深度と速度で実施する。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	改革強化、機能強化の推進に取り組む国立大 学の件数。	活動実績 (当初見込 み)					—
				()	()	()	
単位当たり コスト	(円／)	算出根拠	各法人が各々異なる取組を行うため、単純に単位当たりのコストを記載することにはなじまない。				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費 目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国立大学改革強化推進補助金	13,833百万円	0	※平成24年度限りの経費			
	計	13,833百万円	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国立大学が行う改革強化を推進する取組を支援するため国による事業支援が必要な優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国立大学の行う改革強化を推進する取組のみを交付対象としており実効性の高い事業となっている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名 ー	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、組織改組の構想段階からの支援が可能となり、大学改革の強化推進が期待される。 ・経費の執行に関しては、各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行う予定である。		
予算監視・効率化チームの所見			
	本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

(注)当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

A.国立大学法人			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	改革強化、機能強化等を推進する取組を支援	13,833			
計		13,833	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）